

第 1 学年 国語科学習指導案

【研究主題】 夢と志をもち、ともに未来を切り拓く児童の育成
 ～教育活動全体を通して、「学び合い」を楽しむ児童を育てる～

【研究の仮説】

児童が友達との学び合いの中で「伝えたい」「聞きたい」と思える手だてを講じ、教育活動全体を通して児童の発信・受信力を高め、相手とともに学ぶことの意義を知ること、他と関わりながら主体的に生きようとする気持ちを育むことができるだろう。

1 単元名 本はともだち

教材名 むかしばなしを よもう おかゆの おなべ (光村図書)

2 単元の目標

- ・読書に親しみ、いろいろな本があることを知る。
- ・語と語や文と文との続き方に注意しながら、内容のまとまりが分かるように書き表し方を工夫することができる。
- ・文章を読んで感じたことや分かったことを共有し、伝え合おうとする態度を養う。

3 単元の評価規準と学習活動に即した評価規準

	ア 知識・技能	イ 思考・判断・表現	ウ 主体的に学習に取り組む態度
評価規準	・読書に親しみ、いろいろな本があることを知っている。	・「書くこと」において、語と語や文と文との続き方に注意しながら、内容のまとまりが分かるように書き表し方を工夫している。 ・「読むこと」において、文章を読んで感じたことや分かったことを共有している。	・これまでの学習を生かし、積極的に世界の昔話を読み、感想をカードに書いて進んで伝え合おうとしている。
活動に即した具体的な評価規準	①外国の昔話がたくさんあることを知り、親しんでいる。 ②「おかゆのおなべ」の読み聞かせを聞き、会話文に気を付けて音読している。	①物語の登場人物や内容の大体を読み取れている。 ②「おかゆの おなべ」を音読し、思ったことをカードに書いている。 ③「おはなしカード」に書くことを考えながら本を読	①昔話に親しみ、昔話の本を読んで友達に感想を進んで伝え合おうとしている。 ②学習の見通しをもち、紹介合うために、粘り強くカードを書こうとして

		み、語と語や文と文のつながりに気を付けて書いている。	いる。 ③進んで友達に感想を伝えたり、友達の感想を読んだりしている。 ④本をどう紹介しようかを話し合い、進んで活動を楽しもうとしている。 ⑤お話を伝えたり、聞いたりしていろいろなお話を意欲的に楽しんでいる。
--	--	----------------------------	--

4 単元とその指導について

(1) 教材観

本単元の冒頭に掲載されている作品はいずれも有名な世界児童文学古典作品となっている。まずは、これらを読み聞かせたり自分で読んだりすることを通して、昔話は面白いことや不思議なことが起こるのだという期待を十分もたせたい。お話の世界を楽しみながら異文化を感じ、感想をもつことで伝統的な児童文学を受け止める文化的表象を培えるものとする。既に読んで知っている物語や初めて読んだ物語の内容を他者に伝えることは、物語の理解度を示すだけでなく自分の言葉で語り直す再話者の立場に立つ意味もあり、それは児童が物語伝承の一員となる第一歩ともいえる。今回はグループでお話紹介をするという最終ゴールを設定し、より一人一人が再話者としてお話を楽しむことを目指したい。

(2) 児童観

これまで臨時休校中の5月からNHK for schoolの「おはなしのくに」や担任の読み聞かせ動画の配信を視聴する課題を設定してきたことで、児童は様々な本に対する興味関心が高まっている。児童は1学期に「はなの みち」「おおきな かぶ」「おむすび ころりん」を学習し、物語や世界のお話、日本昔話の読み聞かせに興味をもち担任が読み聞かせた本を手にとったり学校図書コーナーを利用したりする姿が増えてきている。更に、学校図書館司書のブックトークを聞くことにより読書活動に広がりが出始めている。

国語科の学習「おおきな かぶ」「おむすび ころりん」で役に分かれて動作化したり、9月には「やくそく」で音読劇をしたりして、本の世界を広げながら本を介して他者とつながっていく面白さに気付いた。自分だけでは文字を読むことが難しい児童にとっては、担任や友達と一緒に声に出したり、演じたりする活動は読書とはまた違った形でお話を意欲的に楽しめる活動となっており、このような活動が礎となって後に自分で本を読む活動につながっていくと考える。

(3) 指導観

本単元は、読書単元「本は友達」系列の最初に位置するものとなる。小学校学習指導要領解説国語編には、本単元に関する内容として、第三章第一節 1 (1) エ、B (1) ウ、C (1) カに位置付けられている。また、図工科「クレヨンやパスとなかよし」、地域人材を活用した学級活動に関連して指導していくものである。

この単元をきっかけにして、図書館を更に利用したり、友達が他の物語にふれた体験に出会ったりす

ることで、自分の読書生活に潤いをもたらし本の世界を広げると共に、本を介して他者とつながっていく面白さにも気付くようにしたい。

本単元を通じて「外国の昔話」をキーワードにたくさんの本と出会い、感じたことを表現し、他者と共有する読書主体育成の基本的プロセスの指導に重点をおいていく。また、本を共通の話題として児童同士が語り合い、お話を紹介し合う最終ゴールに向かうことで、グループ毎の工夫やアイデアが生まれ、主体的にお話を読んで表現しようとする力を育むことができると考える。

5 研究主題との関連

(1) 目指す児童像

- 自分の考えを、思いを込めて伝えられる児童
- 友達の考えに興味をもって聞ける児童
- 発信したり受信したりしたことから自分の考えを再構築できる児童

低学年の目指す児童像

学習したことをもとに、「もっと知りたい、学びたい」と探究する児童

(2) 研究主題に迫るための手だて

低学年における手だて

- ① 読書環境の整備
- ② 友達との交流活動を取り入れる
- ③ より探究心を刺激する場の設定を工夫する

① 読書記録（読書の木、カード等）の活用や教室環境の整理

5月から担任、6月から他教員、学校図書館司書、図書ボランティアによる読み聞かせ、ALTによる英語絵本の読み聞かせで読まれた本を継続的に「読書の木」として記録し、教室に掲示している。「読書の木」の学習を進める中で振り返りや次の読み聞かせの足掛かりとして活用し、児童がたくさんの本にふれてきたことを自信とし「もっと知りたい、読みたい」という気持ちを高めていく。また、学校図書館司書と連携して国語科の学習の中で先行読書や並行読書を進め、学級・学年文庫として教室や廊下に学習に関連した図書を置くことで、「学びたい」意欲を高められるように読書環境を整えた。

1学期末に読書記録としてカードに読んだ日、題名、一言感想を書く活動を始め、夏休みの課題として読書カードの記録に取り組んだ。また、2学期からは読書カードを継続しつつ、10月から図書リストの活用を始め、本単元の「おはなしカード」や「かんそうカード」に繋がるよう取り組んでいる。

② 友達との交流活動を取り入れる

ア 「声のものさし」や「話型」を作成し、教室に提示することで交流環境を整える

自分の思いや考えを友達に伝えるために声の大きさや話型を示し、グループ交流や全体交流が円滑に進められるようにした。話型を活用してきたことで自分の考えを話すときには、理由が伝えられるようになってきている。

イ 初発の感想やワークシートを活用した友達との交流活動、グループ活動を通した音読劇の発表

読んできたお話について感想を交流したり、ノートやワークシートに書いて友達に知らせたりすることを継続してきた。また、友達と一緒に音読すること、動作化したりリズムをつくって手拍

子を入れたりしながらグループごとに工夫して音読劇を行った。この活動から、友達とお話の内容を振り返ったり表現を相談し合ったりする場を設定し、関わり合いが活発になった。

③ 楽しみながら主体的にお話を伝えるための地域人材の活用、手法の紹介

たくさん出会ってきた本の中で特に児童から人気があった3作品を取り上げ、パネルシアター、紙芝居、紙コップ人形劇などの児童文化的手法を使って工夫しながらお話を伝えることを楽しむために図書ボランティアと連携を図った。図書ボランティアと担任で紙芝居、黒板シアター、紙コップ人形劇の手法で子どもたちにお話を紹介し、「自分達もやってみたい」「どのように紹介しようか」という探究心や意欲を高めることができた。

6 指導計画 (1 4時間扱い…国語科 9時間、図画工作科 2時間、学級活動 3時間)

※下線部は児童が考えを学び合う場面

次	時	○主な学習活動	◇支援と留意点 [評価規準] (評価方法)
一	1	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> いろいろなおはなしをよんで、おはなしのせかいをたのしもう。 </div> <p>○本時のめあてを確認する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> グループでがいこくのおはなしをよみあい、どんなおはなしかつたえよう。 </div> <p>○4人程度のグループで絵本を読み合い、紹介ワークシートを書く。 ○グループ毎に発表する。</p>	<p>◇興味をもたせるために8冊の外国の昔話をくじ引きで選び、当たった本を読む。 [知・技] ア① 外国の昔話の面白さを知り、親しんでいる。(観察・発言)</p>
	2	<p>○本時のめあてを確認する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> むかしばなしをよんで、すきなところやおもしろかったところをつたえよう。 </div> <p>○p 4 2・4 3を読んで、学校図書館司書のブックトークを聞き、外国の昔話の選び方や、図書コーナーでの並び方を確認する。</p>	<p>◇実態に応じて、図書コーナーの外国の昔話に興味をもてるように示し、日常的に本を手にとれるようにする。 ◇単元のめあてを確認し、学習の見通しをもつようにする。 [知・技] ア① 外国の昔話がたくさんあることを知り、親しんでいる。(観察・発言)</p>

二	3	<p>○本時のめあてを確認する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>「おかゆのおなべ」は、どんなおはなしか つたえあおう。</p> </div> <p>○「おかゆのおなべ」の読み聞かせを聞き、 感想をワークシートに書く。 <u>書いた感想カードをグループで読み合い、 全体で共有する。</u></p>	<p>◇おもしろかったところや好きなところな ど、感想の観点を示す。 [思・判・表] イ② 「おかゆの おなべ」の話を聞き、思ったこ とをワークシートに書いている。(記述) ◇同じ作品を読んでも、人によって感じ方や 着眼点異なることに気付き、共有するこ との楽しさを実感できるようにする。 [主] ウ③ 進んで友達に感想を伝えたり、友達の感想 を読んだりしている。(観察・発言)</p>
	4	<p>○本時のめあてを確認する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>「おかゆのおなべ」は、どんなおはなしか たしかめよう。</p> </div> <p>○「おかゆの おなべ」を音読し、登場人物 や内容の大体を確かめる。 ○ワークシート書きながら内容を整理する。</p>	<p>◇「」と『』の使い方について確認し、かぎ かっこの役割や書き方を振り返る。 [知・技] ア② 「おかゆのおなべ」の会話文に気を付けて音 読している。(観察・音読) ◇ ワークシートを用いて内容を整理しやす くし、起きた事件とその解決の仕方の二つ に着目するようにする。 [思・判・表] イ① 物語の登場人物や内容の大体を読み取れ ている。(記述・発言)</p>
	5	<p>○本時のめあてを確認する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>「おはなしカード」のかきかたをしり、 かいてみよう。</p> </div> <p>○教師の読み聞かせた本で「おはなしカー ド」を書く。</p>	<p>◇「おはなしカード」に書かせたい観点到に着 目させながら読み聞かせを聞くようにさ せる。 ◇「おはなしカード」の見本を提示し、項目 を押しえる。 ◇カードを書き終えたら自分で本を選べる</p>

			<p>ように図書を整えておく。</p> <p>[主] ウ②</p> <p>学習の見通しをもち、紹介し合うために、カードを書こうとしている。(記述・観察)</p>
三	6	<p>○本時のめあてを確認する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>「おはなしカード」にかく本をきめて、かこう。</p> </div> <p>○<u>これまでに読んだ本を出し合い、友達に紹介したい本を決めて「おはなしカード」を書く。</u></p>	<p>◇「おはなしカードを」書くことを考えて、もう一度本を読み返し、おすすめする点をはっきりさせる。</p> <p>◇友達に紹介するという目的を確認する。</p> <p>[思・判・表] イ③</p> <p>「おはなしカード」に書くことを考えながら本を読み、語と語や文と文のつながりに気を付けて書いている。(記述)</p>
	7	<p>○本時のめあてを確認する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>ともだちのおはなしカードをよみ、つぎによみたい本を見つけよう。</p> </div> <p>○<u>友達のお話カードを読み、一言感想を書く。</u></p> <p>○<u>これまでの学習を振り返り、更にお話を楽しむ会を企画する。</u></p>	<p>◇「感想カード」の書き方を黒板で示し、活動の見通しがもてるようにする。たくさん書けるよう児童用カードは多めに用意する。</p> <p>◇様々な手法を振り返り、自分達でお話を紹介する意欲を引き出す。</p> <p>[主] ウ③</p> <p>進んで「おはなしカード」に書かれた内容を読み合い、感想を伝えている。</p> <p>(発言・記述)</p>
	8	<p>○本時のめあてを確認する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>「ウキウキ おはなしかい」のグループをつくろう。</p> </div> <p>○三つのお話と手法を知り、どのお話を紹介したいか考え、グループをつくる。</p> <p>○<u>グループで集まり、どんな手法でお話を伝えたらいいか、必要なものを書き出す。</u></p>	<p>◇子どもの意欲を尊重しつつ、グループ活動が円滑に進められる構成にする。</p> <p>◇お話を紹介するための材料、ものづくりの分担などを紙に整理する。</p> <p>[主] ウ④</p>

		本をどう紹介しようかを話し合い、活動を楽しもうとしている。(観察)
図 画 工 作 科 2	<p>○本時のめあてを確認する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>「ウキウキ おはなしかい」でつかう どうぐを じゅんびしよう。</p> </div> <p>○<u>お話紹介に必要なものをつくる。</u></p>	<p>◇遠くからでも見やすく、お話がよく伝わるように、見本を大きくして示し、絵を描きやすいようにする。</p> <p>[主]クレヨンやパスのいろいろな表し方に 関心をもち、楽しく取り組もうとしている。 (観察)</p>
学 級 活 動 3	<p>○本時のめあてを確認する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>ともだちと ちからをあわせて おは なしをつたえる れんしゅうをしよう。</p> </div> <p>○<u>台詞や動きをグループで相談しながら練習し、発表の準備をする。</u></p> <p>○<u>図書ボランティアのぼけっとさんにアドバイスをもらい、工夫をする。</u></p>	<p>◇振り返りカードを使って反省点を相談しながら書き出し、次回の練習につながるようにする。</p> <p>[主] グループの友達と協力して練習し、お話を楽しもうとしている。(活動・記述)</p>
9 一 組 ・ 本 時	<p>○本時のめあてを確認する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>「ウキウキ おはなしかい」をたのしもう。</p> </div> <p>○<u>互いに紹介されたお話を楽しみ、次に読みたい本につなげる。</u></p>	<p>◇感想カードを使って、お話のおもしろさや友達の発表のよさについて書いたり、発言したりできるようにする。</p> <p>[主] ウ⑤ お話を伝えたり、聞いたりして色々なお話を意欲的に楽しんでいる。(活動)</p>

7 本時の学習 (本時7 / 14)

第1学年2組 31名 授業者

(1) 本時の目標

○友達のお話カードを読み、感想をもったり次に読みたい本を見付けたりすることができる。

(2) 本時の評価規準

「おはなしカード」を読み、自分の考えを友達に伝え、次に読みたい本を見付けることができる。

(3) 本時の展開 ※下線部は児童が考えを学び合う場面

時	○主な学習内容 ・考えられる児童の反応	◇支援と留意点 [評価規準] (評価方法)
3	<p>○これまでの学習を振り返り、本時の学習のめあてを確認する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>ともだちのおはなしカードをよみ、つぎによみたい本を見つけよう。</p> </div> <p>○「かんそうカード」の書き方等を知り、学習の見通しをもつ。</p> <p>①友達「おはなしカード」をよく読む ②「かんそうカード」に感じたことを書く ③書いた文を読んで、直す (交流準備)</p>	<p>◇教室掲示を活用する。</p> <p>◇黒板に「感想カード」の書き方を示し、活動の見通しをもてるようにする。</p>
5	<p>○<u>友達「おはなしカード」を読み、「かんそうカード」を書いて交流する。</u></p> <p>①隣同士のペア (5分) ②生活班の3～4人グループ (10分) ③全体交流 (10分)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・わたしが好きな本と同じだった ・知らない本だったので、読んでみたくなった ・他のシリーズもあると書いてあったので今度借りてみたい 	<p>◇交流が円滑に行えるように時間を示しながら進める。全体交流時には各班から一人ずつ班での話を発表できるようにする。</p> <p>[主]ウ③「おはなしカード」を読み、感想カードに書いたり、自分の考えを言葉で伝えたりしている。(発言・感想カード)</p>
30	<p>○<u>「ウキウキ おはなしかい」でお話を発表することを知り、何のお話をどんな方法で紹介してみたいか考える。</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ブレーメンの音楽隊を音読劇で ・長靴をはいた猫を紙芝居で ・くまのがっこうをペープサートで 	<p>◇図書リストを活用し、今まで読んできた本の中からどんな手法でお話を紹介したいか主体的に考えることで意欲を引き出す。</p>
40	<p>○本時の振り返りをし、次時の見通しをもつ。</p>	<p>◇三つのお話と手法、グループを決めて「ウキウキ おはなしかい」に向けた具体的な展望をもてるようにする。</p>

十一月二十七日(金)

ともだちのおはなしカードをよみ、

つぎによみたい本を見つけよう。

● かんそうカードのかきかた

- ① ともだちの「おはなしカード」をよくよむ
- ② 「かんそうカード」にかんじたことをかく
- ③ かいたぶんをよみなおしてなおす

● かんそうカードをつかっでこうりゅうしよう

- ① となりどうしのペア……5ぶん
- ② はんの3〜4人グループ……10ぶん
- ③ ぜんたいこうりゅう……10ぶん

・わたしがすきな本とおなじだった

・知らない本だったので、よんでみたくなった

・ほかのシリーズもあるとかいてあったので、こんど
かりてみたい

● 「ウキウキおはなしかい」にむけて

・ブレイメンのおんがくたい……おんどくげき
・ながぐつをはいたねこ……かみしばい
・くまのがっこう……ペープサート

7 本時の学習 (本時14/14)

第1学年1組 33名 授業者

(1) 本時の目標

○自分たちが好きな世界のお話のおもしろさを伝え、お話の世界を広げることができる。

(2) 本時の評価規準

友達と協力しながらグループ発表を行い、お話の世界を広げている。

(3) 本時の展開 ※下線部は児童が考えを学び合う場面

時	○主な学習内容 ・考えられる児童の反応	◇支援と留意点 [評価規準] (評価方法)
3	<p>○これまでの学習を振り返り、本時の学習のめあてを確認する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; width: fit-content; margin: 5px 0;">「ウキウキ おはなしかい」をたのしもう。</div> <p>○「かんそうカード」の書き方を知る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・グループ発表のよかったところ ・おもしろかった登場人物や場面 ・発表を聞いて、読みたくなった本 	<p>◇教室掲示を活用する。</p> <p>◇感想カードは似顔絵マークと文で考えを表すことができるようにし、全員が自分の考えを示せるようにする。</p>
6	<p>○<u>グループ発表</u>をする。</p> <p>グループ発表①②③ (各7分)</p> <p>感想交流 (3分)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・みんなで協力して楽しそうに発表していた ・楽器を使っていておもしろかった ・人形の動かし方を工夫していた 	<p>◇グループ発表が円滑に行えるように事前準備し、配置を工夫する。</p> <p>[主] ウ⑤</p> <p>友達と協力しながらグループ発表しようとしている。(観察)</p>
33	<p>○本時の学習の振り返りとして「かんそうカード」を書く。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自分の発表、グループ発表について ・友達のグループ発表について ・今日の学習を振り返って 	
38	<p>○<u>全体交流</u></p> <p>感想カードを発表する (3人程度)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・どの発表も違っていて楽しかった ・今までで一番上手に発表できた ・他のお話も紹介してみたい 	<p>◇「感想カードの書き方」にそって発言を求め、次に読んでみたい本がたくさん挙がるようにする。</p>

43	○これからの読書活動に向けてブックトークを聞く。	◇今後、国語の教科書に出てくる「わらしべちようじゃ」「たぬきの糸車」などの昔話や「ずっと ずっと 大すきだよ」などの物語にふれ、関連書を紹介し、更に読書への興味が広がるようにしていく。
----	--------------------------	--

8 板書計画

<p style="text-align: right;">十一月二十七日(金) 本はともだち</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px auto; width: fit-content;"> <p>「ウキウキおはなしかい」をたのしもう</p> </div> <p>きょうのメニュー</p> <p>① かんそうカードのかきかた</p> <ul style="list-style-type: none"> ・グループのよかったところ・くふうしていたところ ・ころろにのこったとうじょうじんぶつやばめん ・はっぴょうをきいてよみたくなった本 <p>② グループはっぴょう(例)</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 「ながぐつを はいたねこ」… かみしばい 2 「かえるをのんだ ととさん」… げき 3 「くまのがっこう」… ペープサート <p>③ かんそうカードをかく</p> <p>④ きょうのふりかえり</p> <ul style="list-style-type: none"> ・れんしゅうしたところがうまくできてよかった ・うたをうたったり、がっきをつかったりして くふうしてはっぴょうしていた ・ととさんのうごきやこねがおもしろかった ・ほかのグリムどうわや日本のむかしばなしもよんでみたくなった <p>⑤ これからのどくしよかつどうにむけて</p>
